



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年3月6日
MR/E10/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

国連大学主催

エレン・ジョンソン・サーリーフ リベリア大統領講演

内容： エレン・ジョンソン・サーリーフリベリア共和国大統領による講演
議題： 「アフリカの開発における女性の役割」
日時： 2007年3月13日（火） 午後3時～午後4時30分
場所： UNハウス ウ・タント国際会議場（東京）
主催： 国際連合大学

- 3月13日、国連大学はリベリア共和国のエレン・ジョンソン・サーリーフ大統領による講演を主催。サーリーフ大統領は、アフリカの開発に女性がいかに貢献しているか、また男女の公平を社会の主流とすることが、コミュニティの能力をいかに高め、地方や国の進歩を支えるかについて講演する予定である。
- 近年、日本政府はアフリカ諸国への援助とアフリカ開発支援を、国際政策の重要な一部と位置付けている。一方で、日本国民のアフリカに対する認識は、紛争、貧困、人道的危機など、ニュース報道によるものが大部分である。
- 国連大学は、アフリカでの日常的な現実について、一般の人々により理解深めてもらうことを目的に、最新のテーマを元に、アフリカの著名な指導者による講演の場を提供している。2006年に国連大学で講演したアフリカの講演者は、ボツワナ共和国のフェスタス・G・モハエ大統領、アフリカ連合委員会委員長で元マリ大統領のアルファ・ウマル・コナレ氏、汎アフリカ議会のガートルード・モンゲラ議長、ルワンダ共和国のポール・カガメ大統領など。
- サーリーフ大統領の講演後、アフリカ問題に関する国連学長顧問でトーゴのロメ大学教授兼名誉総長であるフランシスコ・コムラビ・セド教授からのコメント、続いてハンズ・ファン・ヒンケル国連大学学長の司会による質疑応答を行なう。
- 出席できない方のために、本講演はインターネットのウェブキャスト (<http://c3.unu.edu/unuvideo/?122>) でもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。
- 日英同時通訳あり。

講演者について

- エレン・ジョンソン・サーリーフ氏は、2006年1月にリベリア共和国大統領に選出され、アフリカで初めて民主的に選ばれた女性の国家元首となった。
- サーリーフ大統領はハーバード大学（米国）で行政学修士号を取得。卒業後、リベリアへ帰国し財務省に勤務する。
- 1980年にサミュエル・ドウがクーデターによりリベリア政府を転覆させた際、サーリーフ氏はケニアへ亡命し、シティバンク・グループに勤務、のち米国へ移住する。
- 1997年にリベリアへ戻り、シティバンク・グループおよび世界銀行のエコノミストとして活動。当初はサミュエル・ドウの弾圧的な体制に対抗するチャールズ・テイラーの反乱を支持。1997年の大統領選では、テイラーの対抗馬として出馬。テイラーが2003年に辞職し亡命した後、暫定政権で実質的に大統領としての役割を果たし、2005年11月にリベリア大統領に選出される。
- 大統領として、汚職を減らし、民間投資を増やし、国際社会からの支援体制を確立するとともに、リベリアでの生活のあらゆる面で女性の権限を高めるため、積極的に活動している。

取材ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-3499-1311 e-mail: media@unu.edu）

.....

MEDIA ADVISORY